

千葉市 一般排水施設等維持管理計画

千葉市下水道維持課
策定 令和3年3月

① 一般排水施設等維持管理計画実施の基本方針

【状態監視保全】

.....

機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設を対象とする。

※ 状態監視保全とは、施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法をいう。

【時間計画保全】

.....

機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難な設備、および、時間とコストを考慮し、時間計画保全が適正であると判断した施設を対象とする。

※ 時間計画保全とは、施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により対策を行う管理方法をいう。

【事後保全】

.....

機能発揮上、特に重要でない施設を対象とする。

※ 事後保全とは、施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法をいう。

備考) 一般排水施設等維持管理計画の実施にあたっての、施設の管理区分の設定方針を記載する。

② 施設の管理区分の設定

1) 状態監視保全施設

【管路施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
(最重要施設) 管きよ マンホール マンホールふた	点検は1回/5年 調査は1回/30年 の頻度で実施。	緊急度Iで改築。緊急度II、IIIは劣化状況により、改築、修繕等を実施。マンホール本体は、劣化状況により、修繕等を実施。マンホールふたはふたタイプにより交換の可否を判断。	・軌道横断 ・緊急輸送路下
(重要施設) 管きよ マンホール マンホールふた	点検は1回/15年 調査は1回/30年 の頻度で実施。	緊急度Iで改築。緊急度II、IIIは劣化状況により、改築、修繕等を実施。マンホール本体は、劣化状況により、修繕等を実施。マンホールふたはふたタイプにより交換の可否を判断。	・ターミナル駅がある処理分区の管路施設
(一般施設) 管きよ マンホール マンホールふた	点検は1回/20年 調査は1回/40年 の頻度で実施。	緊急度Iで改築。緊急度II、IIIは劣化状況により、改築、修繕等を実施。マンホール本体は、劣化状況により、修繕等を実施。マンホールふたはふたタイプにより交換の可否を判断。	・最重要施設、重要施設以外の施設

【その他】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
樋門	点検は1回/1年の頻度で実施。調査は点検により必要と判断された施設について実施。	劣化状況により、修繕等を実施。	
調整池	点検は1回/1年の頻度で実施。調査は点検により必要と判断された施設について実施。	劣化状況により、修繕等を実施。	

2) 時間計画保全施設

【ポンプ場】

施設名称	目標耐用年数	備考
ポンプ本体	15～23年	目標耐用年数は、対象施設ごとの更新サイクル履歴を考慮し、浸水リスク別に設定
水位計	15年	
制御盤	23～30年	
非常通報装置	15～20年	

備考) 施設名称を「下水道施設の改築について（平成28年4月1日 国水事第109号 下水道事業課長通知）」の別表に基づき記載する場合にあっては、大分類、中分類、小分類のいずれで記載してもよい。

3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管路施設】
管きよ . . . 事後保全対応に位置付けない。

【管路施設】
管きよ . . . 事後保全対応に位置付けない。

③ 改築実施計画

1) 計画期間 令和3年度 (2021年度) ～ 令和7年度 (2025年度)

2) 個別施設の改築計画

【管路施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区 の名称	合流・ 汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	延長 (km)	概算 費用 (百万円)	備考
中央	雨水	工種：土木建築 大分類：管路施設 中分類：管きよ	1971～ 1993年	28～ 50年	0.09	12.7	市域全ての 時間計画保 全施設
南部	雨水	工種：土木建築 大分類：管路施設 中分類：管きよ	1953～ 2001年	21～ 68年	1.84	315.5	市域全ての 時間計画保 全施設
印旛	雨水	工種：土木建築 大分類：管路施設 中分類：管きよ	1953～ 2001年	21～ 68年	0.91	148.7	市域全ての 時間計画保 全施設

【ポンプ場施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
施設の名称	合流・ 汚水・ 雨水の別	対象施設	設置 年度	経過 年数	数量	概算 費用 (百万円)	更新 年度
大広町雨水ポンプ場	雨水	ポンプ本体	1995	26	2台	8.0	2023
平山町第二雨水ポンプ場	雨水	水位計	2004	17	1台	1.5	2024
椎名崎町雨水ポンプ場	雨水	制御盤	1989	32	1台	7.4	2024
幕張町雨水ポンプ場	雨水	通報装置	新設	-	1台	1.0	2022
横戸町雨水ポンプ場	雨水	制御盤	1996	25	1台	8.7	2023
横戸町雨水ポンプ場	雨水	通報装置	新設	-	1台	1.0	2022
横戸町雨水第二ポンプ場	雨水	ポンプ本体	2003	18	2台	9.2	2022
横戸町雨水第二ポンプ場	雨水	水位計	2003	18	1台	1.5	2022
横戸町雨水第二ポンプ場	雨水	通報装置	新設	-	1台	1.0	2022
宇那谷町雨水ポンプ場	雨水	水位計	2002	19	1台	1.5	2024
小深町雨水ポンプ場	雨水	制御盤	2000	21	1台	8.7	2025
小深町雨水ポンプ場	雨水	通報装置	新設	-	1台	1.0	2022
小深町第二雨水ポンプ場	雨水	水位計	2007	14	1台	1.5	2025

備考1) 改築を実施する施設のうち、②1)において状態監視保全施設もしくは時間計画保全施設に分類したものを記載する。

備考2) 対象施設には、改築を行う部位、設備名称を記載する。記載にあたっては、「下水道施設の改築について(平成28年4月1日 下水道事業課長通知)」別表の中分類もしくは小分類を参考とする。

備考3) 管路施設の改築量は調査予定施設に対し、改築予測割合を乗じて求めた推定量である。

④ スtockマネジメントの導入によるコスト縮減効果

概ねのコスト縮減額	試算の対象時期
約 19.4億円/100年	概ね100年

備考) 標準耐用年数で全てを改築した場合と比較して、②に基づき健全度・緊急度等や目標耐用年数を基本として改築を実施した場合のコスト縮減額を記載する。